

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF東仙台		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日		～ R7年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R7年 3月 3日		～ R7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R7年 2月 17日		～ R7年 3月 2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携	毎回の訪問において、支援内容の振り返りを都度行うようにしている。	保護者のニーズを捉えた上で、より効果的な訪問支援の形を模索していく。
2	訪問先施設との連携	毎回の訪問において、児童の様子の共有や今後の進め方について共有を行っている。	滞りなく訪問先施設との連携がとれるような体制作りについて工夫と検討を深めていく。
3	利用児童のニーズに合わせた関わり	利用児童のニーズの確認から、訪問先施設での適切な支援と関わりにつなげている。	利用児童のニーズも汲み取り、ストレスを感じない関わり方を事業所内でも共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内連携	訪問支援での様子を事業所内で定期的に共有する場が少ない。	訪問支援からの共有を定期的にも実施できるような仕組み作りとスケジュール調整を進めていく。
2	訪問支援の在り方の確立	利用児童の様子や訪問先施設の状況に合わせて、様々な形での訪問支援の形を検討する。	事前の保護者・訪問先施設との打ち合わせから、利用児童のニーズにミスマッチが起きないように体制作りを意識する。
3	事業内容の発信力	訪問支援事業の存在を放デイ利用契約者以外に周知する場がない。	放デイ利用契約者のみならず、地域全体への周知へとつながるよう、HPやSNSからの情報発信を強化する。